

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、大統領弾劾手続きに伴う政治的混乱の拡大懸念とスタグフレーション（インフレと景気後退の共存）の継続が引き続きレアルの重石となり、レアル安が優勢の展開。引けにかけて終始レアル売りが進行し、3.81台半ばで取引を終えた。Levy財務相は昨日、同国経済を持続可能な成長に回帰させるためには、税制改正などの構造改革に取り組まなければならないとの考えを示した。財務相は、2016年度予算を巡る議会との攻防で、プライマリーバランスは国内総生産（GDP）の0.7%相当の黒字を確保すべきとの主張を続けているが、議会からの幅広い支持は依然として得られていない。一部では、仮に議会が黒字目標を0%にまで引き下げると、Levy氏は財務相を辞任する意向がある、との報道も見られている。財務相は、財政目標が漸進的に引き下げられ、解消を目指している財政赤字が拡大し続けている状況に不満を募らせていると推測されることから、マーケットでは常にLevy財務相辞任の噂が燐々している。

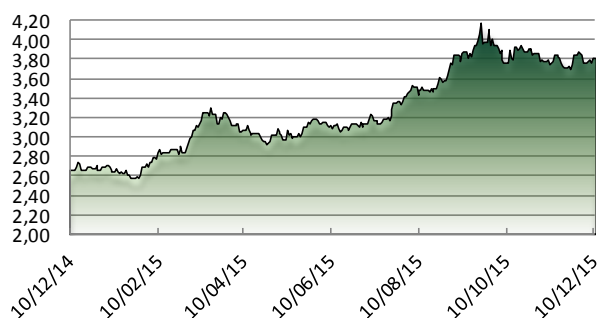
格付会社ムーディーズは9日、ブラジルの格付けを投資適格の最低水準である現在の「Baa3」から格下げする方向で見直すとの考えを公表した。深刻な景気後退や進まない財政再建の取り組み、ルセフ大統領に対する弾劾手続きを議会が承認したことに伴って、政治的空白が生まれるリスクの高まりを理由に挙げた。同社は、「マクロ経済と財政トレンドは急速かつ大幅に悪化している」と説明している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	12月9日	12月10日	前日比	11月10日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,7523	3,8124	+0,0601	3,7478	+0,0646
	対円	JPY	32,38	31,89	-0,49	32,85	-0,96
	対ユーロ	BRL	4,1391	4,1701	+0,0310	4,0130	+0,1571
円	対ドル	JPY	121,44	121,56	+0,1200	123,15	-1,5900
	対ユーロ	JPY	133,88	133,00	-0,88	132,08	+0,92
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	46.108	45.631	-477	46.207	-576
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	453,5	466,6	+13,1	414,5	+52,1
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,62	15,73	+0,11	15,58	+0,15
DI Future Jan17（金利先物）		%	15,71	15,98	+0,27	15,52	+0,46
3 Months US Dollar Libor		%	0,492	0,492	+0,000	0,356	+0,136
CRB Index（国際商品指数）		Index	177,6	177,0	-0,6	189,4	-12,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

